

## 平成27年度第2回愛媛県宇和島圏域地域医療ビジョン調整会議の開催結果

- 1 会議の名称 平成27年度第2回愛媛県宇和島圏域地域医療ビジョン調整会議
- 2 開催日時 平成27年10月6日（火曜日）午後6時30分から午後7時50分まで
- 3 開催場所 南予地方局 7階 第1会議室
- 4 出席者 委員17名、随行者3名、事務局9名（合計29名）
- 5 議題 (1) 医療機能別必要病床数等の推計結果の報告  
(2) 電子データブック等による現状と課題等  
(3) 意見交換
- 6 内容（全部公開：傍聴なし）

### 議題1

宇和島圏域の2025年の医療需要は、患者住所地ベースと医療機関所在地ベースを比較すると、全ての医療機能においてほぼ同数で、当圏域内で発生する医療需要に対する医療提供体制はほぼ整っている。

現在の医療提供体制を確保するとともに、患者の受療動向等が大きく変化しないという前提においては、特に構想区域間の調整は行わなくても患者への医療サービスの影響は少ないと考えられる。

以上のことにより、当圏域は構想区域間調整は行わず、2025年の必要病床数については、愛媛地域医療ビジョン推進戦略会議で決まった調整方針どおり、高度急性期は医療機関所在地の医療需要を、急性期・回復期及び慢性期は患者住所地の医療需要を採用して定めることとし、今後、他の構想区域から協議を持ちかけられた場合は、別途、協議するということで合意を得た。

慢性期は、「特例」要件に該当しないことから「パターンB」を選択。  
患者の流出入は、医療機関所在地ベースの場合、当圏域からは、主に松山圏域に流出し、八幡浜・大洲圏域から流入。  
また、患者住所地ベースの場合、高知県高幡・幡多圏域から流入。  
疾患別では、がんの自給率が高度急性期65.7%、急性期71.6%、回復期76.6%に対し、松山圏域への流出率が高度急性期31.2%、急性期24.3%、回復期20.1%。  
急性心筋梗塞+MDC循環器系の自給率は、高度急性期86.4%、急性期90.5%、回復期91.4%。  
脳卒中の自給率は、高度急性期93.7%、急性期95.3%、回復期96.4%。

### 議題2

DPC導入の病院別のがん患者数は、四国がんセンター、松山赤十字病院、県立中央病院、愛大医学部附属病院に次いで市立宇和島病院が多い。

脳卒中に関しては、救命救急センターを有する病院数（人口10万人当たり）及び脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）届出施設数（人口10万人当たり）において、他圏域に比べ、当圏域が一番数値が高くなっている。

課題としては、救急医療体制の充実、在宅医療の推進、医療提供体制の確保等が考えられることから、今後は、当圏域の2025年のあるべき医療提供体制を実現するための施策を検討することになる。

### 議題3

(1) 病床機能報告制度における病床数と医療機能別必要病床数との差が、かなり開いているように思うが整合性は考えなくてよいのか。

A 病床機能報告制度は昨年度から始まった制度ということで、医療機能の選択間違いや捉え違い等の問題点があったことから、今後、問題点等が改善されるに従って、より精度が上がっていくものと考えられる。

(2) 病床機能報告制度の医療機能の選択において、看護体制も関係しており、高度急性期を選択できないことになっている。

病院としては、診療報酬上7対1看護体制を病棟単位で認めてもらえればもっと実態にあった報告になると思われる。

このような声をあらゆる機会に行政の方でも挙げてほしい。

(3) 必要病床数が1298床に対し、許可病床数が約2159床であり、その差の約800床を今後どのようにするのか、減床しないといけないのか。

A 今回の法改正で知事の権限により対応することになっているが、強制力はないと国からの通知にもある。

ただ、公立病院については、新公立病院改革プランを立てて圏域に応じた効率的な医療（病床数）を率先して調整していくこととなり、民間の医療機関は、経営上のこともあるので、この会を通じて医療需要を提供させていただき、考えていただくということでご理解いただきたい。

(4) 現在、各自治体が将来の人口推計を検討しているところであるが、各市町が出した推計人口を合算したものを元に考えていただけるのか。

この統計で出されているものと県が推計で出しているもの、各自治体がこのようにしたいと考えているものはかなり差がある。

高齢者を地方に押し付けようとしているように感じられ、国と我々が考えている地方創生には、かなりのギャップがあるように思われる。

A 今年度、地域医療ビジョンを策定し、平成30年の第7次医療計画を策定する際には、この地域医療ビジョンが組み込まれることになり、その時点で現状と将来についての見直しが行われると思う。

高齢者の問題については、医療と介護の需要や雇用等も含めて出て来ると思われるので、いい形でバランスが取ればよいと思う。

宇和島保健所 企画課 医療対策係 TEL：0895-28-6105 FAX：0895-24-6806
---